



よろず支援拠点

ご相談は、
「三重県産業支援センター よろず支援拠点」まで
☎ 059-228-3326

中小企業・小規模事業者のための
無料の経営相談所

注目の相談事例 株式会社 タカノファーム

自社米のネット販売を支援。
ページデザインや
SEO対策で検索結果
上位表示を実現

Company Profile

株式会社 タカノファーム

住 所 松阪市美濃田町584

電 話 0598-58-1437

H P https://www.takano-farm.com



松阪市美濃田町で米栽培を中心とした農業を展開している株式会社タカノファーム。お米を中心に小麦、トウモロコシ、小豆、サツマイモ、ブロッコリーなどを栽培している。地域の農家の高齢化に伴い、約20ヘクタールの農地を地元農家から請け負って運営。安全・安心を重視し、SDGsにも取り組んでいる。納品先は飲食店への直接販売が中心。販売エリアは主に三重県内になるが、愛知県や大阪府にも販路拡大を試みている。今回開拓中のネット販売についてデザインとレイアウトは管理画面で、SEO対策を無料ツールの活用で効果を上げる支援を行った。

相談内容

開設したネットショップが宝の持ち腐れ状態に。
改善の手立てを指導していただきました

株式会社 タカノファーム 代表取締役 高野 勝

今から3年前にネットショップを開設したのですが、受注どころか上位表示もされない状態になっていました。宝の持ち腐れ状態になっており、自分たちで改善を試みたのですが、スキルも知識もなく効果が得られない状態。そんなときに行政書士の紹介をきっかけにご相談をさせていただくことになりました。相談当初は改善できるのか不安でしたが、既存ツールでの編集方法や情報発信をアドバイスいただき、自分たちで作業しながら進めることができました。自分たちに合った解決方法を提案してくださり、前向きな気持ちで取り組むことができて感謝しています。



支援内容

的確なキーワード設定が
上位表示のカギに



コーディネーター 鈴木 克彦

デザインに関しては、パソコンのデフォルトアプリで作成する手法で、トップページ画像や商品画像作成の指導をしました。レイアウトに関しては、管理画面と向き合いながら、一緒にその変更方法を調べて調整。SEO対策については、事業者の強みとその訴求を協議しながら出したキーワードで、上位表示をするための内部対策の方法を指導しました。設定したキーワードで検索順位1位を獲得することができました。

注目の相談事例 有限会社 近藤製作所

受注管理システムの開発と
データ入力自動化を支援して
生産効率アップを実現

Company Profile

有限会社 近藤製作所

住 所 四日市市山之一色町2442-2

電 話 059-333-5000



電動工具部品、自動車部品、モーター部品を製作している有限会社 近藤製作所。NC旋盤・マシニングセンタ・複合加工機による量産部品の切削加工を手がけており、主に東海エリアを中心に受注生産を行っている。多品種・少量・短納期に対応できる部品生産を実現。サプライチェーンの一環を担っている。今回よろず支援拠点では、受注管理システムの開発とデータ入力自動化を支援して、生産効率アップによる売上増を実現した。

相談内容



受注管理のDX化に
取り組むにあたって、
DXに関する知識不足に
不安を感じていました

有限会社 近藤製作所 代表取締役 近藤 孝弘

コロナ禍や中国の部品生産中止などの影響を受けていました。売り上げ拡大を目指して、在庫管理を含め、受注管理をDX化したいと考え、メインバンクからの紹介でご相談させていただくことになりました。DXについて知識不足で不安を感じていましたが、ExcelのVBAを使用した自動化といった提案を受け、受注管理システムに取り組んだところ、画面を私が設計して、発注会社のデータ取り込みを支援していただき作業の効率化を実現できました。コーディネーターさんが根気強く話を聞いて親身になって支援してくださったことで、自信に繋がりました。

支援内容

発注企業からのデータの
手入力による課題に着目。
VBAによる
自動入力化を提案



コーディネーター 村阪 浩司

発注企業からの発注データを手入力することによる入力時間と入力誤りというところを課題に感じ、受注管理のExcelのシートの作成とデータ入力の自動化を提案しました。受注管理のExcelのフォーマット作成は近藤代表取締役に作成していただき、自動入力化部分をVBAで作成したことで、受注部品製作の進捗管理、在庫の把握が可能となり、生産効率が格段に上がりました。それにより、入力時間の削減、入力チェック時間を削減して、生産工程に時間を割くことができるようになり、収益がアップしました。支援の際には相談者様のお話をじっくり聞いて、ご提案をすることを心がけました。